

公益社団法人 俳人協会

第三十一回 東北俳句大会・青森大会

主催 公益社団法人 俳人協会
主管 俳人協会 青森県支部

公益社団法人 俳人協会 第三十一回東北俳句大会・青森大会 選者紹介

公益社団法人俳人協会	今瀬剛一先生	俳人協会	山形県支部	鈴木正子先生
公益社団法人俳人協会	小坏健水先生	俳人協会	山形県支部	黒坂重政先生
公益社団法人俳人協会	仲村青彦先生	俳人協会	山形県支部	伊藤寛先生
公益社団法人俳人協会	坂内佳禰先生	俳人協会	福島県支部	橋本研二先生
公益社団法人俳人協会	岩田由美先生	俳人協会	福島県支部	古市文子先生
俳人協会	白濱一羊先生	俳人協会	福島県支部	横山節哉先生
俳人協会	馬場吉彦先生	俳人協会	青森県支部	木附沢麦青先生
俳人協会	澤口航悠先生	俳人協会	青森県支部	小野寿子先生
俳人協会	山崎雅葉先生	俳人協会	青森県支部	土井三乙先生
俳人協会	伊藤藤青砂先生	俳人協会	青森県支部	草野力丸先生
俳人協会	佐藤景心先生			
俳人協会	小林里子先生			
俳人協会	鶴岡行馬先生			
俳人協会	高宮義治先生			

第三十一回

公益社団法人 俳人協会東北俳句大会・青森大会

◆大会賞

水源はあの樵の岳田水張る

岩手 佐々木 一夫

散りてなほこちら見てをり紅椿

青森 葛西 のり絵

子の掌には地卵眩し麦の秋

宮城 木村 螢雪子

水番の母石仏のごとくくる

青森 小笠原 聖子

夏霧に潤む日輪恐山

福島 佐久間 晃祥

ふらここや夕陽にはしゃぐ妻を押す

青森 中澤 玲子

山の子に川を渡つて夏来る	九十五歳今日迄生きて薄暑かな	修司忌の紫紺の空や花りんご	花吹雪太宰千空俱子逝く	まんが館の収蔵原画水の秋	この星を巡る白靴新調す	休校の通用門や夏つばめ	猫の仔の水呑む足が皿の中	りんご売り皆兄さんと呼び掛し
青森 齊藤 君子	宮城 富樫 文子	岩手 梅森 サタ	秋田 岡部 いさむ	宮城 伊藤 一男	宮城 宮野 かほる	宮城 遠藤 克子	岩手 杉田 春雄	宮城 佐藤 ベン

今瀬剛一 特選

水源はあの樵の岳田水張る
散りてなほこちら見てをり紅椿
子の掌には地卵眩し麦の秋
岩手 佐々木 一夫
青森 葛西 のり絵
宮城 木村 螢雪子

小坏健水 特選

水番の母石仏のごとくみる
夏霧に潤む日輪 恐山
ふらここや夕陽にはしゃぐ妻を押す
青森 小笠原 聖子
福島 佐久間 晃祥
青森 中澤 玲子

仲村青彦 特選

山の子に川を渡って夏来る
九十五歳今日迄生きて薄暑かな
修司忌の紫紺の空や花りんご
青森 齊藤 君子
宮城 富樫 文子
岩手 梅森 サタ

坂内佳禰 特選

花吹雪太宰千空俱子逝く
まんが館の収蔵原画水の秋
この星を巡る白靴新調す
宮城 岡部 いさむ
宮城 伊藤 一男
宮野 かほる

岩田由美 特選

休校の通用門や夏つばめ
猫の仔の水呑む足が皿の中
リング売り皆兄さんと呼び掛し
宮城 遠藤 克子
岩手 杉田 春雄
宮城 佐藤 べん

白濱一羊 特選

折線のグラフのやうに来る蝶々
どの部屋へ行っても一人涅槃西風
菖蒲風呂一人はほしき女の子
山形 青木 力
岩手 佐々木 昌子
山形 山口 恵子

馬場吉彦 特選

立春大吉鼠小僧の墓は此処
岩手 菅原 けんいち
修司忌の紫紺の空や花りんご
岩手 梅森 サタ
夏草を統ぶる風あり平泉
秋田 熊谷 尚

澤口航悠 特選

蓴舟沼の深さを知り尽す
山形 横道 輝久子
風鈴や夫の残せし釘に吊る
秋田 伊藤 恵美子
夏草の果ての岬や千空碑
青森 榭 せい子

山崎雅葉 特選

烏賊干しに龍飛の風の仮借なし
秋田 岩谷 塵外
茱萸熟るる北前船の巨大額
福島 横山 節哉
翠巒の沖のきらめくカルデラ湖
青森 鈴木 莉花

佐藤景心 特選

駅弁の紐で綾取り初夏の旅
秋田 木田橋 敬一
揚雲雀思ひの丈の高さかな
青森 鈴木 志美恵

小林里子 特選

穴蔵の薯が芽を出す兜太の忌
山形 木村 比紗子
母生れし郷は田所水鶏鳴く
山形 山口 恵子
夏草の果ての岬や千空碑
青森 榭 せい子

鶴岡行馬 特選

しゆるしゆると薪が歎きをり雁供養
秋田 岩谷 塵外
葉桜や醤油屋樽を風に干す
秋田 藤田 幸子
露の臺はづむを押さへ刻みをり
秋田 小川 千草

高宮義治 特選

養殖と書かれはまちの祝の荷
青森寺岡洋子
コロナ禍の未完のねぶた仕舞はるる
青森今順子
山脈に涅槃の容夕霞
宮城相内をさむ

鈴木正子 特選

馬の首叩き馬術部卒業す
福島古市文子
春の虹遠見に津波水位標
宮城及川奈奈夫
波郷忌や生ある限り飲む薬
福島西内正浩

黒坂重政 特選

螢狩帰りて川の字に眠る
青森笹原郁子
勿忘草風の電話は話し中
岩手土川喜代子
八月や還らぬままの軍馬の碑
宮城阿部竹子

伊藤 寛 特選

携帯に亡き夫立てる桜かな
一つ灯に鬪病の子と受験の子
髪染めてから草取りをすることに
秋田 島 きく子
秋田 木村 登龍
青森 小野 寿子

橋本 研二 特選

八月や還らぬままの軍馬の碑
光太郎の智恵子呼ぶこゑ月朧
幾度の飢饉と津波蘆芽ぐむ
宮城 阿部 竹子
宮城 伊藤 一男
宮城 伊藤 一男

古市 文子 特選

死者生者秋の声聞く恐山
鳥賊釣火連らねて戻る大間港
将門の首にねぶたの灯が揺るる
岩手 川原 栄
山形 大森 アキ
山形 折原 廣子

横山節哉 特選

藍のかめ涼しき土中に滾り立つ
看取る手を休め遠くの祭り笛
風の沖一直線に烏賊釣り火
宮城 佐々木 智以
山形 丹 まきよ
青森 田村 芳陽

伊藤青砂 特選

台風圏まづは五合の飯を炊く
古民家のシェフの出迎へ花こぶし
最後かもしれないぬ父との山登り
岩手 篠村 恵美子
岩手 安達 広子
秋田 熊谷 尚

木附沢麦青 特選

帰還せぬ軍馬の牧場蕨折る
花つけし庭草敢へてむしりけり
山寺の草木塔の灼けてゐし
岩手 佐々木 一夫
宮城 佐藤 尚
宮城 坂内 佳園

小野 寿子 特選

水番の母石仏のごとくくみる	青森	小笠原 聖子
津波禍の校舎よしきり啼きやまず	宮城	佐野 享保
夜勤終へカーネーションを届けし子	福島	伊藤 登久子

土井 三乙 特選

山の子に川を渡つて夏来る	青森	齊藤 君子
廃屋の軒につばめの来て夜明け	山形	丹 まきよ
波郷忌や生ある限り飲む薬	福島	西内 正浩

草野 力丸 特選

たんぽぽの花に茎なき竜飛崎	岩手	馬場 吉彦
今生の余白に水を打ちにけり	神奈川	井澤 健二朗
捨て舟も菜圃となれり葱坊主	宮城	佐野 享保